

# 幼い胸に美しい夢と感動を！ 「子供の心の奥深いところにも一粒の素敵で情操の種をまく」

劇団飛行船

劇団飛行船（川崎市多摩区登戸、鈴木徹社長、電話044・930・1551、FAX044・935・0078、<http://hikosen.co.jp/>）は、昭和41年の創業から変わらず、「幼い胸に美しい夢と感動を！」をモットーに、世界の名作や日本昔話・子供たちに人気のアニメ作品などを、マスクブレイ・ミュージカルとして舞台化している。

「マスクブレイ・ミュージカル」とは、遊園地やデパートの屋上などのショーとは異なり、登場するキャラクターすべてを着ぐるみを着用して表現する本格的な「ぬいぐるみ演劇」として、劇団飛行船が考案したオリジナルネームである。

昭和52年に、初の海外公演マジカルスペース『シンドバットの不思議な冒険』で、香港21日間公演を行って以来、現在では中国・韓国・台湾などの定期公演を含め、アジアで年間100ステージ以上を上演するまでになった。国内では、幼い子供たちや保護者からの力強い



鈴木徹社長



ファンタジーの世界を再現したマスクブレイ・ミュージカル

支持を受け、幼稚園・保育園の観劇会で年間2,000前後の公演を行っている。

ファンタジーの世界をそのまま表現した同劇団の作品は、「子供たちの純粋な感性を刺激して、心の奥深くに何か大切なものを残したい!」「子供の心の奥深いところに一粒の素敵で情操の種をまく!」という大切に難しい使命に挑戦し続けている。よりハイクオリティなステージをめざして、日夜プロデュース・稽古に励んでいる。